

# 総括質疑

3月定例会では、予算審査常任委員会において各会派の代表が、令和6年度予算について一問一答方式による質疑を行いました。

ここでは、その質疑の一部を掲載します。

## (予算審査常任委員会小委員会での審査)



### 都市整備

上村 真造

#### 平成西山クラブ

**問** 令和6年度予算に、西山天王山駅構内通行助成金の経費が計上されている。東西自由通路が閉鎖されたままの状況で、障害者手帳などをお持ちの方だけでなく、幅広い形で補助をすべきと考えるがどうか。

**答** 駅構内を通らずとも行き来できるというのが、まず大前提であるべき姿だと考えている。現在は対象者を限定しているが、今後の実績を見ながら検討を進めていきたい。



### 教育

川口 良江

#### 長岡京未来の会

**問** 本市の学校健診では、胸を出すことを拒否する児童生徒には個別の配慮を行うと聞いているが、着衣での健診実施を検討する予定はないか。

**答** 本市では、医師の診察スペースに行きまでは着衣を基本とし、医師の前では正確な健診のため視触診を行うことがあることを事前に説明している。今後も文部科学省の通知や医師会と十分に調整をしながら学校健診を実施したい。



### 福祉

二階堂 恵子

#### 日本共産党

**問** シルバーほっとラインについて、令和5年度の新規設置目標数は30とあるが、団塊の世代が75歳を迎える中、対象者数は大きく増加すると思う。新たな目標を考えているか。

**答** 地域での見守りなど互助、共助の要素を含む緊急相談通報に係る体制整備を図るものであるため、今後も周知が重要と考える。出前講座の際に必ず紹介するなど啓発を推進し、必要な方に行き渡るようにしたい。



### 教育

小原 明大

#### 日本共産党

**問** 新年度予算では税収の増加を見込んでいる。この増加分を活用して、給食費値上げ分の補填に充てる考えはあるか。

**答** 給食の食材費は保護者負担が原則であり、それを前提に議会でも議論を重ね、アンケートも実施してきた。保護者負担の原則は堅持しながら、給食費以外の部分で、子育て環境の充実などにこれまで以上に注力していく必要があると考えている。

## 総括質疑とは？

予算審査常任委員会には、分野ごとに審査する「分科会」と予算議案全体を一括して審査する「小委員会」があります。

小委員会では、各会派から選任された委員が、それぞれ一人あたり30分の持ち時間で、一問一答方式の質疑を行います。これを「総括質疑」と言います。

詳しい総括質疑（小委員会）の内容は、ホームページの「会議録検索システム」の中で随時掲載しています。





## 都市整備

住田 初恵

### 日本共産党

問 JR長岡京駅東口駅前広場の整備では、バス停にベンチが設置されたが、風よけがなく、市民に優しいまちはいえない。バス待ち環境の改善は必要と考えるがどうか。

答 JR長岡京駅東口駅前広場については、様々な要望がある。今後、バス事業者と連携し市内にある約90か所のバス停の利用状況を考慮しながら、バス待ち環境の改善に向けて優先順位をつけて対応をしていく。



## 行財政

干場 志都恵

### 輝 (かがやき)

問 まち活ミーティングは、今年度5回の実施があった。集まった市民が、本市について意見を出し合い、そこから取り組みを考えるものだったが、開催による成果と課題はどうか。

答 成果としては、まちづくりに関心がなかった方や今後の担い手となる若い方の参加があり、新しい交流が生まれたことである。課題は、この動きを今後、広域的な市民活動になげられるかである。



## 地域振興

富田 達也

### 輝 (かがやき)

問 公民連携の初期は、活動資金や必要な情報収集など、様々な課題が存在している。公共空間で公民連携を活用するために支援策などを事前に市が示すべきと考えるがどうか。

答 公民連携における支援内容は、事業化する場所や内容などにより変わってくる。そのため、支援に向けて事前の対話が必要であり、対話の中で確認した内容や役割分担などを見える化して対応していきたい。



## 都市整備

進藤 裕之

### 輝 (かがやき)

問 政府は、自転車による交通違反者への反則金制度を柱とする道路交通法改正案を閣議決定した。本市でも自転車の交通ルール遵守の更なる啓発が必要と考えるがどうか。

答 今後の施行にあたり、広報紙などで周知するほか、街頭啓発や交通安全などでも改めて安全のための交通ルールの普及に努めていく。また、警察や関係機関と十分に連携し、改めて啓発に取り組みたい。



## 都市整備

田村 直義

### 平成同志クラブ

問 御陵山崎線の北伸整備は、完了までかなりの期間を要すると考える。それならば、喫緊の課題である馬場一丁目の交差点の改良や、ルート変更などを考えるべきではないか。

答 馬場一丁目の交差点の危険性は承知しており、現在決定しているルートから変更したいが、都市計画決定は個人の権利を制限する手続きとなるため、容易な変更は難しい。引き続き京都府と協議を重ねていく。



## 教育

福島 和人

### 公明党

問 正確な学校健診に視触診が必要な場合がある。正確な健診の実施と児童生徒のプライバシー保護に配慮した対応が必要と考えるがどうか。

答 本市では、医師会等と話し合いの結果、エプロン型タオルやラップタオルなどで体を覆い、正確な健診のため、医師の視触診を行うこととしている。引き続き丁寧な説明を行い、プライバシーや心情に配慮した安心して受診できる環境整備を行う。



## 防災

八木 浩

### 平成自民クラブ

問 見守り機能付き防犯カメラについて、平成31年に運用を開始して以降、大きな抑止力になっていいると思う。この間の人口増加や住宅開発の増加を踏まえ、増設の考えはあるか。

答 防犯カメラの設置は、地域の見守りに大きな成果を上げていいる。安心安全のまちづくりの推進のため、今後は、警察や地域の方とこれまでの運用について検証を行い、新設や移設も含めた検討を行っていく。



## 福祉

中村 亮太

### 長岡京黎明の会

問 本市では、障がい者差別の解消や理解促進を図るため、主体的に活動できるサポーターづくりなどに取り組んでいると聞かすが、どのような取り組みを行っているのか。

答 本市では、障がい者児の人権を考える市民のひろばのほか、あいサポート研修などを実施している。研修では、障がいの特性やサポート内容の事例紹介のほか、手話を取り入れるなど理解促進に努めている。